

— 2025チェリー通信9月号 —

9月イベント情報

- 2日（火） サッカー教室（アンドロメダ、ホワイト5歳）
- 5日（金） 音楽教室（オリオン、オレンジ）
- 9日（火） 体育教室（ペガサス、オリオン、オレンジ5歳）
- 11日（木） 避難訓練
- 19日（金） 音楽教室（アンドロメダ、ホワイト）
- 24日（水） 運動会（0歳児クラス）
- 25日（木） 運動会（1歳児クラス）
- 26日（金） 運動会（2歳児クラス）
- 29日（月） 運動会（ペガサス座組）
- 30日（火） 運動会（オリオン座組）
- ※10月1日（水） 運動会（アンドロメダ座組）
- ※10月2日（木） 運動会（カシオペア座組ホワイト）
- ※10月3日（金） 運動会（カシオペア座組オレンジ）



今月のきらびと

フリー保育教諭

井上清子先生

保育者としてのキャリアは20年以上。

他業種なども経験し、保育や各種業務でもその経験を
発揮し、“今までに無い”をフリーと言う立場から発信し
続けている清子先生をご紹介します。



清子先生はフリー保育者で、補助的な役割をすることが多い立場でありながらも、複数のクラスと一緒に楽しめる企画をいくつも提案し実践してきました。
今回はその原動力や思い、今後の展望などについてインタビューしました！

絵具大会！



お店屋さん

ごっこ



バイキング給食



Q：フリーという役割でどんなことを大切にしていますか？



A：親戚のおばちゃん…

と、いうと??



A：ちょっとやさしくてちょっときびしい存在。なろうとおもったわけではなく、たまに行くと子どもたちが歓迎してくれる。たまに現れるちょっとおもしろいことをしてくれる人(おばちゃん)という存在なんなのかなあと感じる。つまり、フリーとは親戚のおばちゃん的な存在なのではないかと思ったので、そんな存在であることを大切にしています。

Q：フリーと言う立場でクラス保育の内容に提案しようと思ったきっかけは何ですか？



A：そもそも行った活動がクラス保育とっていないです。

Q：絵の具の活動にしても、バイキングの活動にしてもクラス保育への提案という意味ではないのですか？



A：やろうと思ったきっかけは、絵具というカテゴリーであればどの学年でも同じようにできるのでは？と思ったこと。”あかちゃんは指先”だけ、”手形は職員がやる”…などの認識や”きれいに作らなければならない”という固定観念に疑問！
ぐちゃぐちゃでもいいから自由な活動が作品になるにはどうしたらよいかと考えました。



そもそも・・・他園でも同じ疑問からいろいろな提案をしてきたが受け入れられませんでした。「髪に絵具がついたらどうするの?」「よごれたらどうするの?」と否定されてきました。大人の裁量次第では?と疑問をもっていたけど、この園では「やってみたら?」と提案を受け入れてくれたし、賛同してくれる職員がいるので個人的な興味関心と、やってみたいという気持ちから今回の活動もやってみました。

そもそもクラス保育という認識でもないの、誘う時は0～5歳まで全体に声をかけています。同時に・・・実際に実施するときの安全面は考慮して人数を分けるなど具体的な実施方法は考えています。

なるほど・・・

Q：そもそもなぜ今回のような絵具の活動やバイキングの活動をやりたかったのですか？





A: 自分が子育てをしている時に子どもがフードコートを期待し「フードコート行きたい！」ととても望んでいたのが印象に残っています。わが子にとっては“買い物＝フードコート”となっているのかなと思いました。…ということは、子どもはフードコートのような体験を望んでいるのでは？と思いました。

それを具現化するには？と検討したが、園(当園)の環境の中でフードコートは現実的に難しいのでランチバイキングお店屋さんごっこに修正して実施計画しました。本当は給食の先生が出てきて、普段直接関わらない職員からフードコートで買い物するように体験してほしいと思ったが、現実と照らし合わせて修正して実施しました。





絵具の活動は純粹な好奇心。

絵に対して苦手意識のある子が多いと感じていたが、実際には顔書かせたら上手な子、紙切らせたら上手な子、色使いが面白い子など設定された活動以外では面白いことをする子がたくさんいた・・

だから自由にさせたらどんなものができるのか興味がありました。

当時辰年だったので龍と組み合わせて実行。

実際の活動中は想像以上に集中して、普段のクラス活動では絵具が苦手な子もいたはずなのに、自由な環境ではそれぞれの楽しみ方を見つけて参加していたので面白いなと思いました。

子どもの個性をストップさせない、脚に絵具を塗ろうが、何しようができるだけ止めない。

目的があると制限をかけてしまうのではないかと思ったので、完成形としての目標は設定しないことが大切なのではないかと思いました。

また、定期的に実施したら大人も子どももこのような自由でぐちゃぐちゃした活動でも抵抗がなくなるのでは？と期待しています。だからいまだに継続実施しています。



Q：これから提案したいと思っている活動はどんなものがある、どんなねらいがありますか？



やってみたいこととしては、系列園（隣接する第2チェリー）と一緒に活動できないかと検討しています。園内では一緒にやる企画に慣れてきているので新たな刺激を入れられるのでは？と期待している。

持論ですが、何事も刺激が大切だと思っています。刺激があるのであらたな発見がある（同じ環境にいと慣れてしまう。）刺激を受けないことにも慣れてしまう。刺激に対しての反応できなくなってしまう。（ちょっとした刺激に対しても拒絶反応を起こしてしまう）反応が反応を生み、発見の相乗効果が生まれるのではないかと考えています。「？」からの「！」につながる・・・その繰り返しが成長に良いと聞いたことがある・・・疑問に思わない限り学びは無いと思います。

絵具色塗り大会の時子どもの様子に疑問がわいた・・・その子はずっと足の裏に塗って楽しんでいるようだった・・・クラスではちょっと絵具が着くと騒いでいるような子だったのに・・・

自由な環境によって引き出されたのか？疑問であり発見だった。絵具活動で様々な発見がありました。良い意味で刺激が加わり、疑問が生まれ、発見につながり、大人も子どもも学びにつながると思う。だから新たな刺激を作りたいです！



クラス紹介
今月は1歳児クラス「こぎつね座組」
をご紹介します！

クラスで大切にしていること

「とにかく楽しい！」そして、安心できる環境の中、大人に見守られながら「やってみよう！」と挑戦する気持ちを大切にしています



クラスでの取り組み

毎日、子どもたちの「楽しい！」を大切にしながら、活動を考えています。
広いスペースで体を思いきり動かしたり、
いろいろな素材やものに触れてみたり…。
はじめてのことや遊びにも保育教諭と一緒に
行うことで、「やってみたい！」と興味
を持ったり取り組もうとする様子が見られて
います😊



特に7月・8月は、夏ならではの遊びや、感触遊びをたっぷりと楽しみました！

・水あそび

氷遊び、色水あそび、泡あそび

・寒天あそび

・春雨あそび など

五感を使ってたくさんの「楽しい！」を感じた夏になりました☀



※今月はページ数が多くなってしまったので、〇〇先生のおすすめコーナーはお休みさせていただきます🌸
次回お楽しみに！